COSMOS

ポータブル型ニオイセンサ

# XP-329m

# 取扱説明書

●この取扱説明書は、必要なときにすぐに取り出して読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。
●この取扱説明書をよく読んで理解してから正しくご使用ください。

新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO.,LTD.

# 目　次


| | | |
|---|---|---|
| はじめに | | 1 |
| 包装内容の確認 | | 1 |
| 正しくお使いいただくために | 1　正しくお使いいただくために | 2 |
| | (1)　シンボルマークの説明 | 2 |
| | (2)　アイコンの説明 | 2 |
| | (3)　用語の説明 | 3 |
| | (4)　使用上の注意事項 | 4 |
| 各部のなまえ | 2　各部の「なまえ」と「はたらき」 | 6 |
| | (1)　本体 | 6 |
| | (2)　液晶表示 | 7 |
| | (3)　ドレンフィルタ | 8 |
| 測定する | 3　測定する | 9 |
| | (1)　測定の準備 | 9 |
| | (2)　測定を開始する | 10 |
| | (3)　測定する | 11 |
| | (4)　測定を継続する場合 | 12 |
| | (5)　測定を終了する | 12 |
| | (6)　「LL」「HH」表示となった場合 | 12 |
| | 4　ピークホールド機能について | 13 |
| | (1)　ピークホールド機能の使い方 | 13 |
| | (2)　ピークホールド値のリセット方法 | 13 |
| | 5　保管する | 14 |
| 消耗品の交換 | 6　消耗品の交換 | 15 |
| | (1)　ドレンフィルタのフィルタエレメント交換方法 | 15 |
| | (2)　電池の交換方法 | 17 |
| オプション | 7　オプション品について | 19 |
| | 8　本体メモリへの測定値記録（オプション） | 22 |
| | (1)　ログデータを記録する | 22 |
| | (2)　ログデータを削除する | 23 |
| | 9　アナログ出力機能（オプション） | 25 |
| | (1)　使用手順 | 25 |
| | (2)　仕様 | 25 |
| | 10　COSMOS DATA LOGGER（オプション） | 26 |
| | (1)　COSMOS DATA LOGGER のインストール | 26 |
| | (2)　COSMOS DATA LOGGER の使用方法 | 32 |
| | (3)　COSMOS DATA LOGGER のアンインストール | 50 |
| | 11　活性炭フィルタについて（オプション） | 53 |
| | (1)　取付方法 | 53 |
| | (2)　取外し方法 | 54 |
| | (3)　活性炭の交換方法 | 55 |
| 故障とお考えになる前に | 12　故障とお考えになる前に | 57 |
| | 13　保守点検 | 59 |
| | 14　保証書と web ユーザー登録 | 60 |
| | 15　廃棄について | 60 |
| | 16　主な仕様 | 61 |

# はじめに

この度は、ポータブル型ニオイセンサ XP-329m をお買上げいただき、ありがとうございました。
本器はニオイ分子をごく薄いガスとしてとらえ、人の嗅覚では感知することが難しい微妙な変化や強弱を「000～999」のデジタル数字で表します。

※測定のご参考に弊社ホームページのニオイセンサ製品情報をご利用ください。
**アドレス　http://www.new-cosmos.co.jp/nioi.html**

# 包装内容の確認

包装箱の中にはニオイセンサ本体および付属品が入っていますので、ご使用になる前に全て揃っているか、必ずご確認ください。万一製品に破損や欠品がございましたら、お手数ですがお買上げ店または最寄りの営業所までご連絡ください。

| | |
|---|---|
| XP-329m 本体 | 1 台 |
| ドレンフィルタ | 1 個 |
| 単 3 形アルカリ乾電池 | 3 本 |
| フィルタエレメント | 10 枚 |
| 取扱説明書 | 1 冊 |
| 検査成績書／保証書 | 1 枚 |
| web ユーザー登録のご案内 | 1 枚 |

# 1. 正しくお使いいただくために

**本器を正しく、有効にご利用いただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、ご再読ください。**

## (1) シンボルマークの説明

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、『警告』、『注意』の2つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、よく読み正しくお使いください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況が生じることが予見される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | 回避しないと、軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状況が生じることが予見される内容を示しています。 |
| メモ | 取り扱い上のアドバイスを示しています。 |

## (2) アイコンの説明

この取扱説明書に用いられるアイコンの意味は次の通りです。

| | |
|---|---|
| 〃 〃 〃<br>〃 〃 〃 | 液晶表示部の表示の点滅を表します。 |
| POWER | POWER ボタンを表します。 |
| PEAK HOLD | PEAK HOLD ボタンを表します。 |
| RECORD | RECORD ボタンを表します。 |

## (3) 用語の説明

この取扱説明書に用いられる用語の意味は次の通りです。

### 「ニオイ」

ニオイには、香りを表す「匂い」と悪臭である「臭い」があります。ここでは「匂い」と「臭い」を総称して**ニオイ**と表しています。

### 「清浄空気」

ニオイのないきれいな空気のことをいいます。
※オプションで活性炭フィルタをご用意しています。

### 「ベース調整」

測定を行う前に清浄空気を吸引させ、測定の基準となるベースを調整することをいいます。

## (4)使用上の注意事項

ご使用前によくお読みいただき、正しくお使いください。

**⚠警告**

**●本器は防爆構造ではありません。非危険場所でご使用ください。(電池の交換も含む)**

**非危険場所**

工場その他の事業場において、爆発または火災を生ずるために十分な量の爆発性ガスが空気と混合して爆発限界内にある状態の雰囲気(危険雰囲気)を生成しているか、あるいは生成するおそれのある場所のことを危険場所といいます。これに対して、電気設備を施設する場所で、通常及び異常な状態において危険雰囲気生成の可能性がないと見なされる場所のことを非危険場所といいます。

**●オプションの専用 AC アダプタ(100V～240V)以外は使用しないでください。**

**オプション以外の ACアダプタや電源を使用した場合、出火のおそれがあります。**

**⚠注意**

**●本器に下記のガスなどを吸引させないでください。センサの破損や被毒の原因となります。**

- **高濃度のニオイやガス(特に硫化物)**
- **ヘアスプレー、シリコーン系接着剤、シリコーンチューブなどから発生するシリコーン化合物**
- **タバコの煙など粒子状の高濃度のタール**
- **オイルミストなどの蒸気**

**●本器に下記のガスを吸引させないでください。センサ素子表面の触媒を腐食させることがあり、センサの破損の原因になります。**

- **高濃度の塩化物や強酸物質**

**●本器に下記のガスを吸引させないでください。マイナスの感度を与えると同時に、センサの一時被毒や、さらには腐食・破損の原因となります。**

- **塩素を含むハロゲン化物**
- **オゾン・NOx などの酸化性ガス**

**⚠注意**

●トランシーバーなど電波を発生する機器の近くでは使用しないでください。正常な動作、表示がされない場合があります。

●本器は精密部品で構成されています。故障の原因となりますので、下記の注意事項を必ず守ってください。

・分解、改造、修理をしないでください。
・強いショックや振動を与えないでください。
・高温多湿となる場所での保管や放置をしないでください。
・水などの液体を吸引させないでください。また、水などの液体がかからないようにしてください。
・ベンジン、シンナーまたは濡れた布などで拭かないでください。（お手入れの際は柔らかい布で拭いてください）
・機器本体の吸引口・排気口には、強い圧力負荷をかけないでください。

●測定方法を守ってください。

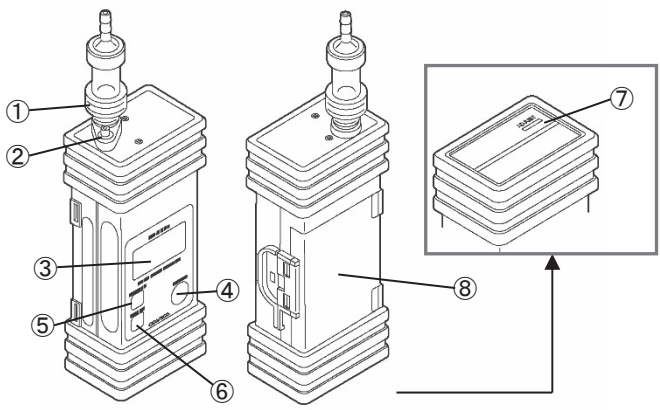
●電池の挿入は極性表示に従い正しく入れてください。電池が切れた場合は 3 本同時に、新しい同種の電池に交換してください。また、電池切れのまま長時間放置すると電池の液漏れの原因になります。本器を 1 ヶ月以上使用しない場合は、電池を外して保管してください。

●長期間使用しない場合でも、6 ヶ月に一度は電源を入れ、ポンプが吸引することを確認してください（3 分間程度）。長期間動作させずにいると、ポンプのモータ内のグリスが固まり動作しなくなることがあります。

●本器による測定結果は、悪臭防止法の定める公的なデータとして利用することはできません。

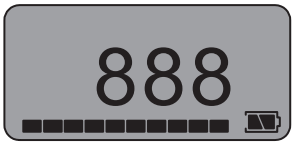
# 2. 各部の「なまえ」と「はたらき」

## (1)本　体



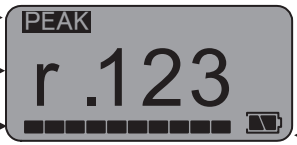

| No. | な　ま　え | は　た　ら　き |
|---|---|---|
| ① | ドレンフィルタ<br>（吸引口） | フィルタエレメントを内蔵し、チリやホコリなどを除去します。<br>（ニオイ及び清浄空気を吸引します。） |
| ② | 排気口 | 吸引したニオイ、清浄空気を排気します。 |
| ③ | 液晶表示部 | ニオイのレベル表示、電池レベルの状態、メモリ残量やピーク値などを表示します。 |
| ④ | POWER ボタン | 電源の ON/OFF を行います。また、PEAK HOLD ボタンを押している間に POWER ボタンを押すとピーク値はリセットされます。 |
| ⑤ | PEAK HOLD ボタン | PEAK HOLD ボタンを押している間、ピーク値を表示します。<br>また、その間に POWER ボタンを押すとピーク値はリセットされます。 |
| ⑥ | RECORD ボタン | 測定値の記録開始・終了を行います。（オプション） |
| ⑦ | ベース調整ツマミ | 清浄空気中でベース調整を行う際に使用し、デジタル表示の数値の調整を行います。※清浄空気の確保が困難な場合はオプションの活性炭フィルタをご使用ください。 |
| ⑧ | 電池収納部<br>（電池室） | 単三形乾電池３本を収納します。 |

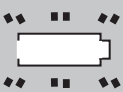
## (2) 液晶表示




| No. | 表　示 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 1 | 888 | 電源 ON 後 10 秒間暖機運転を行います。 |
| 2 | 025（例） | 3 桁の数値で測定値を表示します。センサ出力がゼロベースよりマイナス方向に出力した場合はマイナス表示します。(-025(例)) |

| No. | 表　示 | 内　　容 | 操作ボタン |
|---|---|---|---|
| 1 | PEAK | ピーク値を表示している間、表示します。 | PEAK HOLD |
| 2 | r. | 測定値をメモリに記録開始すると表示します。記録中は、点滅します。 | RECORD |
| 3 | ■■■■□□□□ | メモリの残量をバーグラフで表示します。 | |



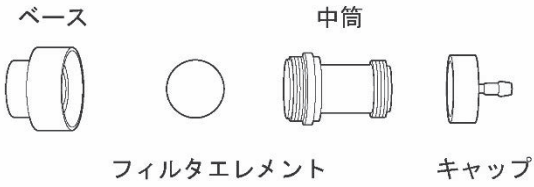

| No. | 表　示 | 内　　容 | |
|---|---|---|---|
| 1 | | 電池残量<br>（使用可能な<br>時間の目安※) | 約 3 時間以上　（電池が新品の場合は約 12 時間） |
| 2 | | | 約 1 時間以上 |
| 3 | | | 約 15 分以上 |
| 4 |  | | 約 15 分未満(電池アイコン枠の点滅とブザー断続鳴動) |

※アルカリ乾電池（20℃）を使用の場合

## (3) ドレンフィルタ

ドレンフィルタの内側には、フィルタエレメントが収納されており、チリやホコリなどを除去します。フィルタエレメントは、ベースの部分に 0 リングで取り付けられます(下図ご参照)。

フィルタエレメントは目視で汚れを確認したら、交換してください。



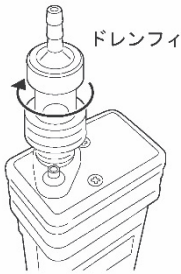

**メモ**

長時間使用すると、ドレンフィルタ内のフィルタエレメントが汚れます。フィルタエレメントが汚れるとポンプの吸引量が低下したり、清浄空気を吸引しているにもかかわらず測定値がゼロベースに戻りにくくなったり、フィルタエレメントに付着したニオイが対象のニオイに混入し正確な測定ができなくなるなど測定に影響を与えます。目視で汚れを確認したら新しいものと交換してください。

・フィルタエレメント交換方法　(→ P. 15)

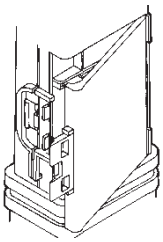
# 3. 測定する

## (1) 測定の準備




①本体上部の吸引口にドレンフィルタを取り付けます。

> ⚠注意 電源 ON にする時は、必ずドレンフィルタを取り付けてください。フィルタを取り付けない場合、チリやホコリ等を吸引し、ポンプ故障の原因となります。

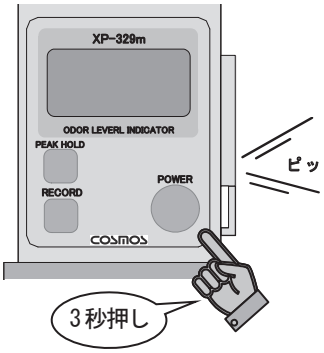


② 電池収納部に電池を挿入します。

（→電池の交換方法　P. 17）

> メモ オプションとして AC アダプタもご用意しています。

# (2) 測定を開始する

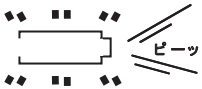



**①電源 ON、暖機運転を開始します。**

**POWER ボタン (POWER) を 3 秒間押し続け、電源 ON にします。**

**⚠注意** ドレンフィルタが所定の箇所に取り付けられていることを確認してください。

**メモ**




液晶部の電池残量マークが点灯していることを確認してください。電池残量マークが点滅し、ブザー音が鳴っている場合は一旦電源 OFF にし、新しい同種の電池に交換してください。

**②暖機運転を行います。**

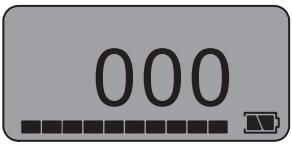
**「888」が 10 秒間表示され、暖機運転を行います。指示値が安定するまで待ちます。**

**メモ** 暖機運転が重要です。

本器に搭載している金属酸化物半導体式ニオイセンサは通常 350～500℃に加熱した状態で使用するため、使用頻度や保管状況によって異なりますが、設定温度になじませるための暖機時間が必要です。

通常、暖機運転時間はニオイの発生源の探索などの場合は 5 分程度が目安となりますが、定量的測定を行う場合は 30 分程度行ってください。また、前回使用時から 1 ヶ月以上の間隔を置いて使用する場合は、安定するまでに時間がかかる場合があります。AC アダプタ(オプション)などを利用して、1 時間程度の暖機運転を行ってからベース調整をしてください。

暖機運転中にポンプが停止し「ERR0」と表示された場合は、故障の可能性があります。お買上げ店または弊社に修理をご依頼ください。

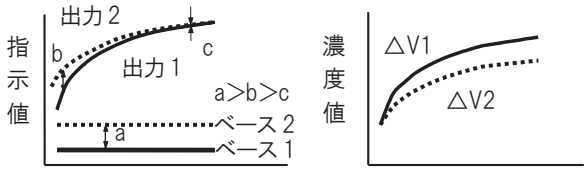



**③ベース調整**

**指示値が安定後、ベース調整ツマミをゆっくりまわし、「000」に合わせます。**

**メモ** ベース調整は、必ず清浄空気中で行ってください。

・ニオイセンサの出力特性(出力とニオイの濃度の関係)は下図の様な関係にあります。ベース調整時に清浄空気で行った(ベース 1 及び△V1)か、あるいは汚れている空気で行った(ベース 2 及び△V2)かによって同じニオイを測定しても得られる測定値は異なってきます。




ニオイの濃度 出力特性　　ニオイの濃度 変化度

※ベース調整時にできる限り同じ条件(清浄空気:温度や湿度も同じ)で行うことが大切です。

・現場など清浄空気が得られない場合

→活性炭フィルタ(オプション)を使用してください。

・通常の大気中でベース調整する場合(屋内)

→禁煙で無人の会議室など、清浄空気が得られる場所で行ってください。

但し、指示値がある程度変動する可能性があります。

・通常の大気中でベース調整する場合(屋外)

→自動車の排気ガスや人通りの少ない場所で行ってください。

但し、指示値がある程度変動する可能性があります。

## (3)測定する

**ニオイを吸引口から吸引させると、ニオイの強弱に応じた指示値が表示されます。ニオイの強弱が変動している場合は、それに応じて数値が変動します。**

**読み取った指示値からベース値を差し引いた値を測定値とします。**

**メモ** 指示値が「-99～999」の範囲を超えると測定不能となります。「-99」以下の場合は「LL」が、「999」以上の場合は「HH」が表示されます。

## (4)測定を継続する場合

再度清浄空気を吸引させ、指示値がベース値まで戻るのを待ちます。
次の測定を開始します。

メモ　指示値がベース値まで戻るのを待たずに電源を切ったり、ベース調整ツマミで強制的にベース値に戻したりしないでください。

## (5)測定を終了する

測定後は必ず清浄空気を吸引させ、指示値がベース値付近に下がったことを確認してから、電源を切ってください。

⚠注意　測定後は指示値がベース値に下がってから電源を切ってください。
臭気が本体に残っている状態で電源を切ると、次回測定時に「HH」を表示し、ベース調整に時間がかかったり、センサに悪影響を及ぼす可能性があります。

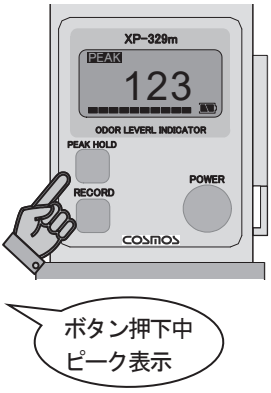
## (6)「LL」「HH」表示となった場合

①「LL」表示となった場合
マイナス干渉のガスを吸引しているおそれがあります。センサが破損するおそれがあるため、直ちに測定を終了し、しばらく清浄空気を吸引してください。

②「HH」表示となった場合
測定範囲を超える強いニオイを吸引しています。センサが破損するおそれがあるため、直ちに測定を終了し、しばらく清浄空気を吸引してください。

# 4. ピークホールド機能について

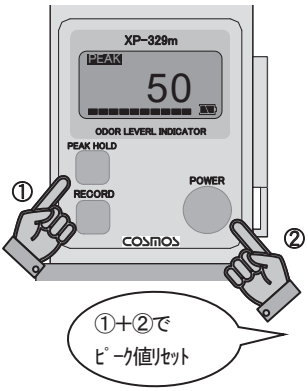
## (1) ピークホールド機能の使い方




ピークホールド機能とは、常に測定値の最大値を表示する機能です。変動しているニオイの強さを測定する場合、ピークホールド機能を使用すると便利です。
測定中にPEAK HOLDボタン PEAK HOLD を押している間のみ、ピーク値を表示します。

ピーク値を表示している間は、画面左上に PEAK のアイコンが表示されます。

## (2) ピークホールド値のリセット方法




PEAK HOLD ボタン PEAK HOLD を押してピーク値を表示中に POWER ボタン POWER を押します。

**⚠注意**

○マイナス表示のピークホールド機能はありません。
○メモリ機能(オプション)の使用中はピークホールド機能は動作しません。

# 5. 保管する

**⚠注意**

- ●高温、多湿の場所に長く放置しないでください。
- ●急激な温度/湿度変化は、機器の性能を損なうおそれがありますので避けてください。
- ●下記のような場所では保管はしないでください。
  - ・車の排気ガスなど燃焼装置からの排気ガスが存在する。
  - ・タバコなど煙が存在する。
  - ・強いニオイが存在する。
  - ・シリコーン化合物のガスが存在する。（シリコーンパテやシリコーンチューブ、ヘアスプレーなどから発生）
- ●大きな気圧変化はセンサの性能を損なうなど破壊するおそれがありますので避けてください。
- ●長期間使用されない場合、電池は必ず本体から抜いておいてください。

# 6. 消耗品の交換

## (1) ドレンフィルタのフィルタエレメント交換方法

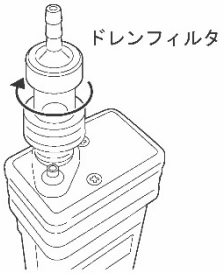
フィルタエレメントをお求めの際は、部品名、数量をお伝えください。

| 部　品　名 | 1 回の交換に必要な数量 | 販売単位 |
|---|---|---|
| フィルタエレメント<br>(FE-24) | ドレンフィルタ 1 ヶ所に 1 枚 | 10 枚入り<br>50 枚入り |

**⚠注意** フィルタは弊社純正品を使用してください。純正品以外を使用すると正常な測定ができない場合があります。

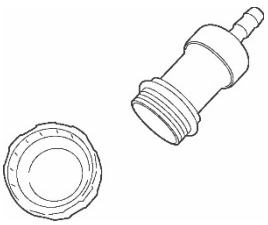
**メモ**

●長時間使用すると、ドレンフィルタ内のフィルタエレメントが汚れます。フィルタエレメントが汚れるとポンプの吸引量が低下したり、清浄空気を吸引しているにもかかわらず測定値がゼロベースに戻りにくくなったり、フィルタエレメントに付着したニオイが対象のニオイに混入し正確な測定ができなくなるなど測定に影響を与えます。目視で汚れを確認したら新しいものと交換してください。

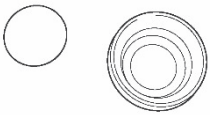



**①ドレンフィルタを本体から取り外します。**

**メモ** ドレンフィルタは回転させながら取り外すと簡単に取り外すことができます。



②フィルタエレメントを取り出し、ドレンフィルタ内（本体部分）のホコリなどを十分取り除きます。



③新しいフィルタエレメントを入れ、ドレンフィルタを元の通り組み立てて、機器本体に取り付けます。

⚠注意 ●機器を動作させた状態で、フィルタエレメントを交換しないでください。ホコリ等の異物が機器内に入るおそれがあります。
●組み立て時にはネジの締めすぎにご注意ください。

# (2)電池の交換方法

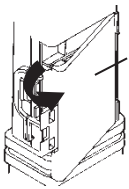
**⚠警告 電池の交換は非危険場所で行ってください。**

**非危険場所**

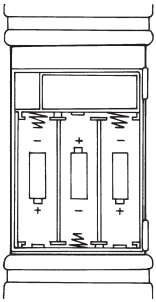
工場その他の事業場において、爆発または火災を生ずるために十分な量の爆発性ガスが空気と混合して爆発限界内にある状態の雰囲気(危険雰囲気)を生成しているか、あるいは生成するおそれのある場所のことを危険場所といいます。これに対して、電気設備を施設する場所で、通常及び異常な状態において危険雰囲気生成の可能性がないと見なされる場所のことを非危険場所といいます。

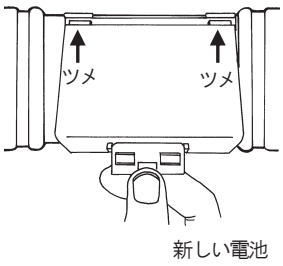
**メモ**

- ●交換する電池は古い電池との混合は避け、全て新しい電池に取り替えてください。
- ●電池は電池室の極性(+)、(-)表示通り間違えないように交換してください。
- ●電池は単三形アルカリ乾電池をご使用ください。
- ●電池のご使用時間の目安については、P. 7 の「電池残量」の表示をご覧ください。

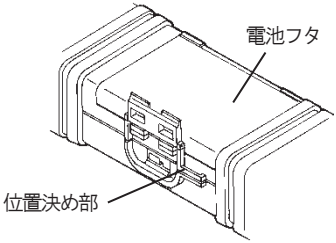



**①電池蓋を開け、使用済みの電池を取り出し、新しい単3形アルカリ乾電池（3本）を極性表示に従って挿入します。**






②電池フタの右横にあるツメを機器本体に引っかけます。




③電池フタをツメ側に押しながら、位置決め部の内側に押し込んで閉めます。

# 7. オプション品について

測定に便利な各種オプションをご用意しております。是非ご利用ください。
オプション品の保証期間は有効期限など表示がある場合を除きお買上げ日より 1 ヶ年です。保証条件は製品と同じになります。

## XP-329m 専用オプションパック P329

XP-329m 専用の AC アダプタや外部出力ケーブルなどが一式入ったオプションパックです。P329 を使用すると以下のことが可能となります。

〇AC アダプタでの連続使用
〇XP-329m 本体からのアナログ出力（0-999 に対して 0-999mV）
〇XP-329m 本体の内蔵メモリへの測定値記録
（記録したデータはパソコンを使用し取り出します。）

オプションパックの内容物は以下の通りです。

・XP-329m 専用 AC アダプタ　　1 本
・外部出力ケーブル　（アナログ）1 本
・PC 接続用ソフト　COSMOS DATA LOGGER（CD-ROM）　　1 枚
（Windows8.1/10 対応）
・USB 接続ケーブル　　1 本

詳しくは、
『 8. 本体メモリへの測定値記録（オプション）』P.22
『 9. アナログ出力機能（オプション）』P.25
『10. COSMOS DATA LOGGER（オプション）』P.26 を参照ください。

## 活性炭フィルタ(活性炭フィルタケースと活性炭1パック)DF-105

活性炭フィルタを使用することで、清浄な空気を吸引することができます。ベース値がなかなか安定しない場合や、使用環境に清浄な空気がなく測定が難しい場合などでもご使用いただけます。より正確に測定される場合などにご使用ください。

※活性炭フィルタ DF-105 はポータブル型ニオイセンサ XP-329Ⅲ、XP-329ⅢR と共通部品となっております。それらの製品をお持ちの方は、XP-329m にもお使いいただけます。

詳しくは、
『11. 活性炭フィルタについて（オプション)』P. 53 を参照ください。

## 活性炭(5パック1組)FE-110

活性炭フィルタ DF-105 の詰換え用活性炭です。5パック1組となっています。

※活性炭 FE-110 はポータブル型ニオイセンサ XP-329Ⅲ、XP-329ⅢR と共通部品となっております。それらの製品をお持ちの方は、XP-329m にもお使いいただけます。
※活性炭の交換は使用環境・頻度にもよりますが、概ね1ヶ月に1度となります。

詳しくは、
『11. 活性炭フィルタについて（オプション)』P. 53 を参照ください。

## 平面ニオイ捕集器 HN-5(ステンレス製)

板紙や木板など、平面状の物から発生するニオイを測定する場合に便利です。

## 試料採取用ポンプ DC1-NA(吸引部カートリッジ式)

悪臭防止法の中で直接採取法と呼ばれるサンプリング方法で定義されているポンプです。ポンプと試料採取袋を接続し大気中のニオイを採取する時に使用します。また、風が強い場所などで正確な測定ができない場合などにも使用します。ポンプの吸引流量は 15~20l/min です。臭気指数変換テーブル作成時にも大変便利です。

※吸引圧が非常に弱いため、負圧のニオイ採取には使用できません。

## 試料採取袋(6 枚 1 組)NB-310　F タイプ (ポリエステル製)

測定対象臭気を採取して測定するときに使います。容積は 10L、取入口の外径は 8㎜ です。

## 嗅覚測定用ニオイ袋(12 枚 1 組)NB-310　0 タイプ(ポリエステル製)

嗅覚測定用で容積は 3L です。※試料採取にはご使用いただけません。

## テフロンチューブ TP-1(テフロン製、外径 5×内径 4㎜、1m)

試料ビン、平面ニオイ捕集器を用いて測定する場合などに吸引口に取り付けて使用します。

## 試料ビン SB-200(ビン：ガラス製、フタ：テフロン製、口金：ステンレス)

固体や液体から発生するニオイを測定する場合に使用します。

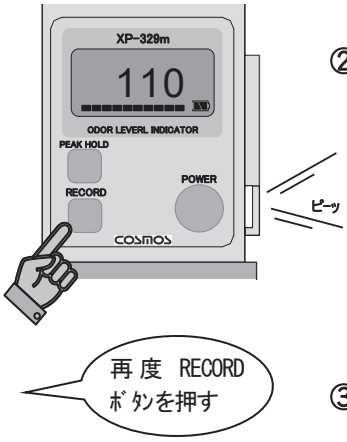
※平面ニオイ捕集器、試料採取用ポンプ、試料採取袋、嗅覚測定用ニオイ袋、テフロンチューブ、試料ビンはポータブル型ニオイセンサ XP-329 シリーズ、XP-329Ⅲ、XP-329ⅢR と共通部品となっております。それらの製品をお持ちの方は、XP-329m にもお使いいただけます。

# 8. 本体メモリへの測定値記録（オプション）

## (1) ログデータを記録する

機器の電源を入れ、通常測定状態にします。

**①通常測定状態で、RECORD ボタン [RECORD] を押します。画面左に「r.」マークが点滅表示され、設定された記録間隔ごとにログデータの記録が開始されます。**




**②記録をストップさせる場合は、再度 RECORD ボタン [RECORD] を押します。「ピーッ」というブザー音とともに、画面左の「r.」マークが消え、記録が終了します。**

**③再び記録したい場合は①②の操作を繰り返します。**

> **⚠注意** オプションの『オプションパック P329』をご購入いただいていない場合は、上記記録機能を使用することはできますが、記録したデータをパソコンに取り込むことはできません。

**メモ**

- 記録中はピークホールド機能が使用できないため、PEAK HOLD ボタンを押しても、ピーク値は表示されません。
- 記録間隔は工場出荷時には 1 秒に設定されています。記録間隔の変更は、PC 接続ソフトから設定します。『10. COSMOS DATA LOGGER(オプション)』P. 46 を参照ください。

## (2) ログデータを削除する

### ①XP-329m 本体から削除する

機器の電源を入れ、通常測定状態にします。

**①通常測定状態で、RECORD ボタン

を 3 秒間押します。「ピーッ」というブザー音が鳴動し、最後に記録したデータが削除されます。**

**②続けてデータを削除したい場合は、①の操作を繰り返します。**

メモ

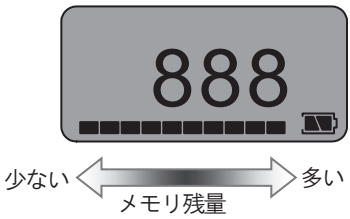
●RECORD ボタンを 3 秒間押しても「ピーッ」というブザー音が鳴動しない場合は、XP-329m 本体にログデータは残っていない状態となります。

●ログデータを削除した場合の「ピーッ」というブザー音は、削除中は連続鳴動するよう設計されているため、容量が大きいデータを削除する場合、数秒間ブザーが鳴動する場合があります。

### ②COSMOS DATA LOGGER（パソコン）から削除する

『10. COSMOS DATA LOGGER(オプション)』P. 26 を参照ください。

### ③メモリ容量について




メモリ容量については XP-329m 本体下部に表示されているメモリ残量バーグラフにて確認することができます。記録することによりバーグラフが右側より減っていき、すべて無くなるとメモリがいっぱいの状態となります。メモリがいっぱいになるとブザー音が鳴動し、メモリを削除しない限り、記録できない状態となります。

メモリ容量は 18KByte です。つまり、1 秒間隔にて記録すると約 5 時間記録することが出来ます。記録間隔と連続記録可能時間は以下のようになります。

表　記録間隔と連続記録可能時間の目安

| 記録間隔 | 連続記録可能時間 |
|---|---|
| 1 秒 | 約 5 時間 |
| 2 秒 | 約 10 時間 |
| 5 秒 | 約 1 日 |
| 10 秒 | 約 2 日 |
| 30 秒 | 約 6 日 |
| 60 秒 | 約 12 日 |

メモ

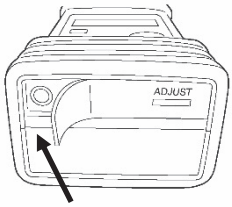
●上記の記録可能時間は連続記録可能時間です。何度も RECORD ボタンを押し、断続的に記録を行った場合は、記録時間は短くなります。

●記録間隔は工場出荷時には 1 秒に設定されています。記録間隔の変更は、COSMOS DATA LOGGER から設定します。『10. COSMOS DATA LOGGER(オプション)』P. 46 を参照ください。

●COSMOS DATA LOGGER でもメモリ残量を確認することができます。

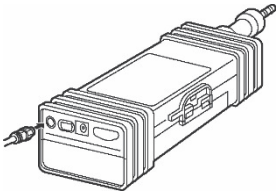
# 9. アナログ出力機能（オプション）

## (1) 使用手順




この部分からはがす

①XP-329m 本体底面保護シールを底面の左下部位の切り込みからはがします。



②底面左端のジャックがアナログ出力となっているため、オプションパック P329 に付属の外部出力ケーブルをカチッという音がするまで奥に差し込みます。

③外部出力ケーブルのもう一方を記録計などに接続します。

> **⚠注意** オプションの『オプションパック P329』をご購入いただいていない場合は、上記記録機能を使用することはできません。

## (2) 仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 信号 | 指示値 0-999 に対して DC0-999mV<br>（インピーダンス 1MΩ以上） |
| 精度 | 指示値に対して±1%以下 |
| ケーブル長 | 1m |
| ケーブル色 | 白：プラス　黒：コモン |

# 10. COSMOS DATA LOGGER（オプション）

## (1) COSMOS DATA LOGGER のインストール

### 1). ソフトウェアのインストール

●商標について・・・Windows, Excel は米国Microsoft Corporation の登録商標です。
●本ソフトの必要な動作環境は以下の通りです。
・Windows8.1/10 が動作するパソコン
・ハードディスクドライブ空き容量　60M バイト以上

メモ

●Windows は Windows Update を適用し、サービスパック等を最新の状態に更新してからご使用ください。
●ここでは標準的な設定の Windows10 でのインストール画面で説明します。他のバージョンの Windows では画面表示が異なる場合があります。

⚠注意

●インストールの実行前に、他のプログラムをすべて終了しておいてください。
●インストールは検知器本体を USB 接続しない状態で行ってください。

**①　パソコンの CD-ROM ドライブにインストール CD を入れます。**

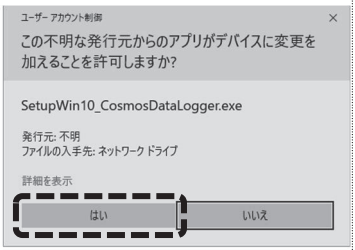
**Windows10 の場合、インストール CD の「SetupWin10_CosmosDataLogger.exe」を実行します。**

**Windows8.1 の場合、インストール CD の「SetupWin81_CosmosDataLogger.exe」を実行します。**

メモ

●何らかのセキュリティに関する警告が表示された場合は、『実行』または『続行』または『許可』または『はい』を選択し、インストールを続行してください。

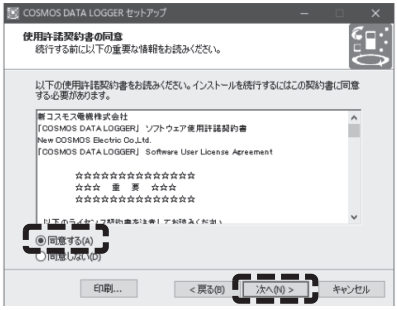
●インストール中のファイルコピーに 10 分以上かかる場合には、セットアップを一旦中止し、『ウイルスチェッカー』等の動作を一時的に停止すると改善する場合があります。インストールが完了したら、安全のために再び『ウイルスチェッカー』の動作を再開することを忘れないようにしてください。



② インストール中に使用する言語を選択し、「OK」をクリックします。

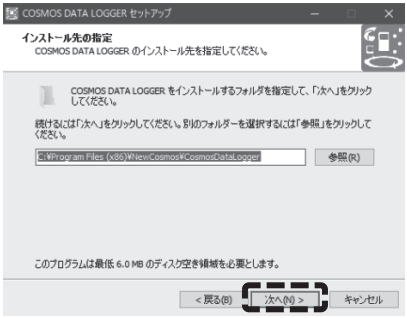
③ 「COSMOS DATA LOGGER セットアップウィザードの開始」画面が表示されます。「次へ」ボタンを選択します。

④ 「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。
画面をスクロールさせて、すべての内容を良く読んでください。
ライセンス契約のすべての条項に同意して頂ける場合にのみ、[同意します]をチェックして、[次へ]をクリックします。

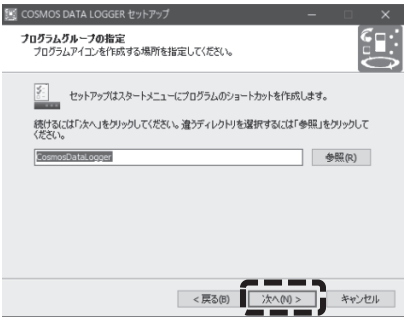



**⚠注意** インストールまたは、初めて使用される前には必ず「ソフトウェア使用許諾契約書」の全ての内容を良く読んでください。その内容の全てに同意される場合にのみ、ソフトウェアの使用が許諾されます。

⑤ 「インストール先の指定」画面が表示されるのでインストールするフォルダを選択します。
そのままでよければ「次へ」をクリックします。他のフォルダにインストールする場合は「参照」をクリックしてからフォルダの選択をします。インストール先のフォルダが決まったら「次へ」をクリックします。




⑥ 「プログラムグループの指定」画面が表示されるのでプログラムアイコンを作成する場所を選択します。
そのままでよければ「次へ」をクリックします。
他のディレクトリに作成する場合は「参照」をクリックしてからディレクトリの選択をします。作成先のディレクトリが決まったら「次へ」をクリックします。



⑦ 「インストール準備完了」画面が表示されます。
内容を確認し、「インストール」をクリックします。

⑧ 正常にインストールが終了した場合には、続いて「NFC Port Software」のインストール開始画面が表示されます。XP-329mとの通信には必要ないので「キャンセル」を選択します。

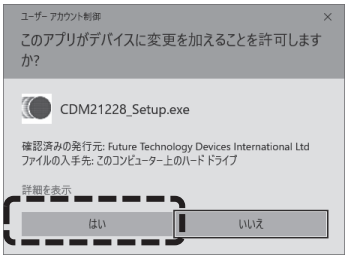
⑨ 「COSMOS DATA LOGGER セットアップウィザードの完了」画面に切り替わります。
「完了」ボタンを選択してインストールを終了してください。

## 2）.USB ドライバのインストール

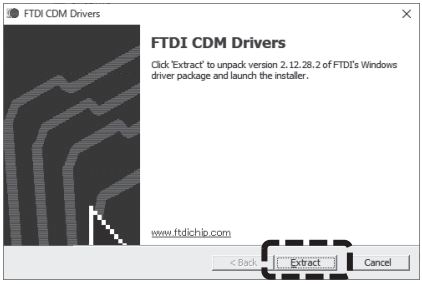
### ① インストールCDの「CDM21228_Setup.exe」をダブルクリックします。

メモ

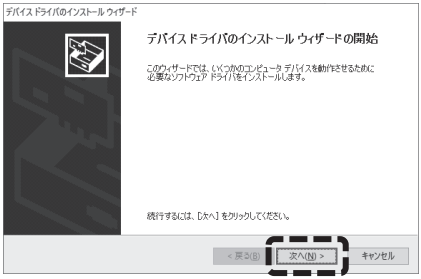
●何らかのセキュリティに関する警告が表示された場合は、『実行』または『続行』または『許可』または『はい』を選択し、インストールを続行してください。



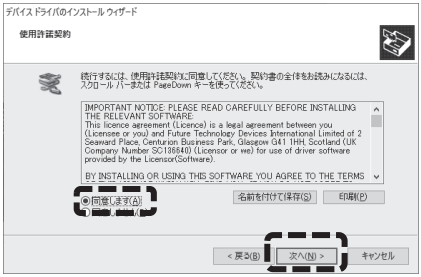

### ② インストール開始画面が表示されます。「Extract」をクリックします。



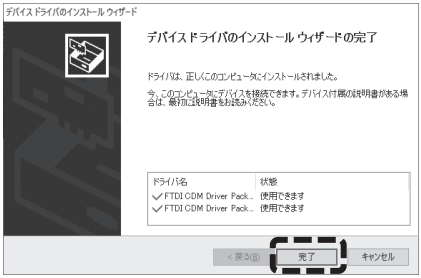

### ③ 「デバイスドライバのインストールウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。



④ 「使用許諾契約の同意」画面が表示されます。画面をスクロールさせて、すべての内容を良く読んでください。
ライセンス契約のすべての条項に同意して頂ける場合にのみ、「同意します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。




⑤ インストールが正常に完了すると、「デバイスドライバのインストールウィザードの完了」画面が表示されます。
「完了」をクリックします。

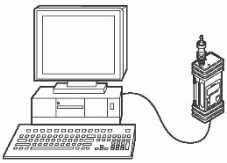


# (2) COSMOS DATA LOGGER の使用方法

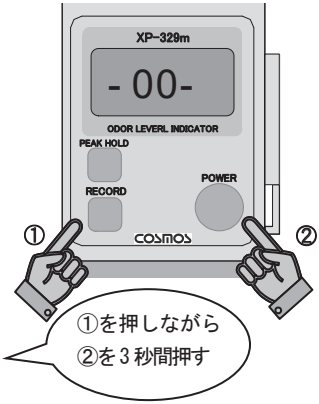
## 1）. パソコンと XP-329m を接続します

この部分からはがす

①XP-329m 本体底面保護シールを底面の左下部位の切り込みからはがします。



②XP-329m 底面の USB 端子とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。



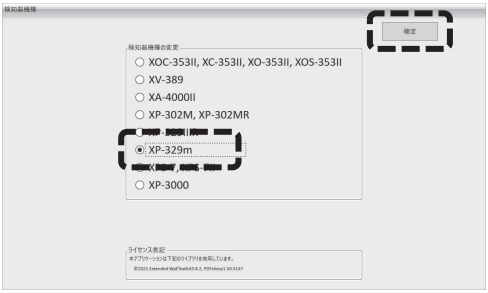

③XP-329m の RECORD ボタン RECORD を押しながら POWER ボタン POWER を 3 秒間押し、通信モードで電源を入れます。

通信モードで電源が入ると、画面に『**-00-**』と表示されます。

④パソコンの「スタートボタン」→「COSMOS DATA LOGGER」をクリックし、ソフトを起動します。

## 2）. COSMOS DATA LOGGER の使用方法

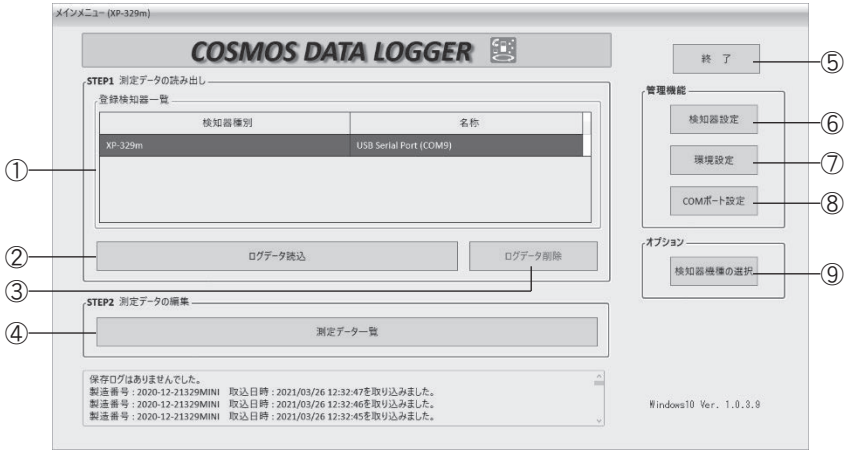
XP-329m との通信が確立すると COSMOS DATA LOGGER が起動し以下の画面となります。




**① 「XP-329m」を選択し、「確定」ボタンをクリックします。**
**② メインメニューが表示されます。**

メモ ●本アプリを終了する場合、メインメニューの「終了」ボタンをクリックしてください。本アプリは、メインメニューからのみ終了できます。

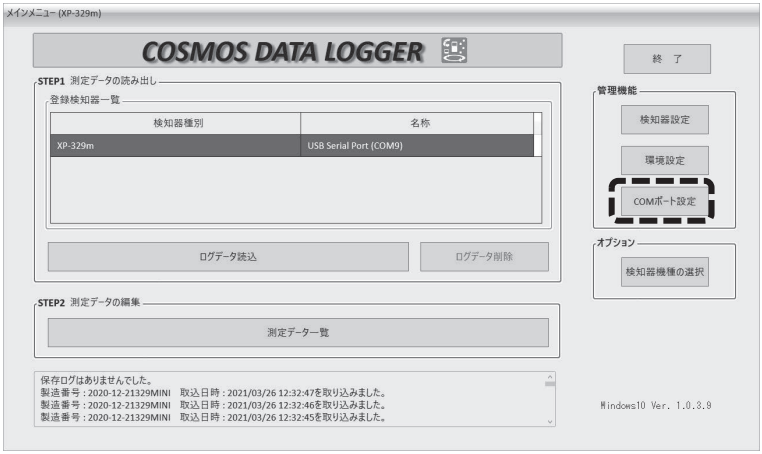
## 3）. メインメニュー




| No. | な ま え | は た ら き |
|---|---|---|
| ① | 登録検知器一覧 | 登録している検知器の種別と名称を表示します。<br>ログデータの読み込みや削除したい検知器を選択します。 |
| ② | ログデータ読込 | 登録検知器一覧で選択した検知器のログデータを読み込みます。<br>（→ P. 36） |
| ③ | ログデータ削除 | 登録検知器一覧で選択した検知器のログデータをすべて削除します。<br>（→ P. 37） |
| ④ | 測定データー覧 | 読み込んだ測定データの一覧を表示します。<br>（→ P. 38） |
| ⑤ | 終了 | COSMOS DATA LOGGER を終了します。 |
| ⑥ | 検知器設定 | 記録間隔の取得や設定、メモリの残量確認を行います。（→ P. 45） |
| ⑦ | 環境設定 | データを読み込んだ際に検知器側のデータの削除方法を設定します。<br>（→ P. 47） |
| ⑧ | COM ポート設定 | 検知器を接続する COM ポートを選択します。（→ P. 35） |
| ⑨ | 検知器機種の選択 | 検知器の機種を変更します。（→ P. 48） |

4）. COM ポートの設定

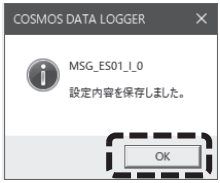
① メインメニューの「COM ポート設定」をクリックします。




② 検知器を接続した COM ポートの登録欄にあるチェックボックスをクリックします。

③ 「登録」をクリックします。

④ 「設定内容を保存しました。」が表示されたら「OK」をクリックします。

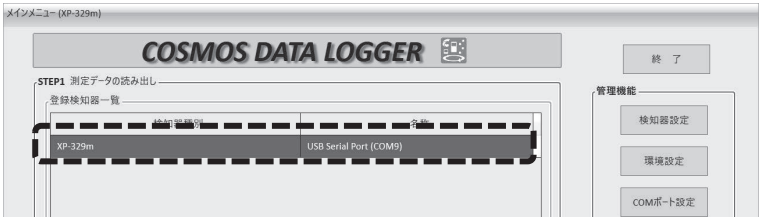



⑤ 戻るボタンでメインメニューに戻ります。

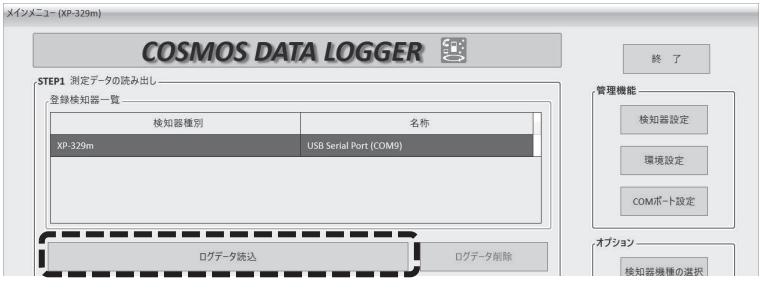
### 5）. ログデータ読込

登録検知器一覧で選択した検知器のログデータを読み込みます。

**① ログデータを読み込む検知器を選択します。**

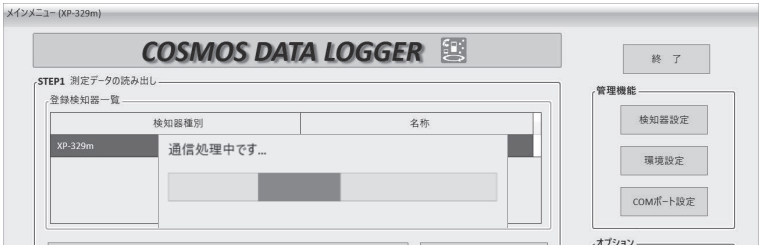



**② 「ログデータ読込」をクリックします。**




**③ 確認のメッセージが表示されたら「OK」を選択してください。**

**④ ログデータが読み込まれます。**

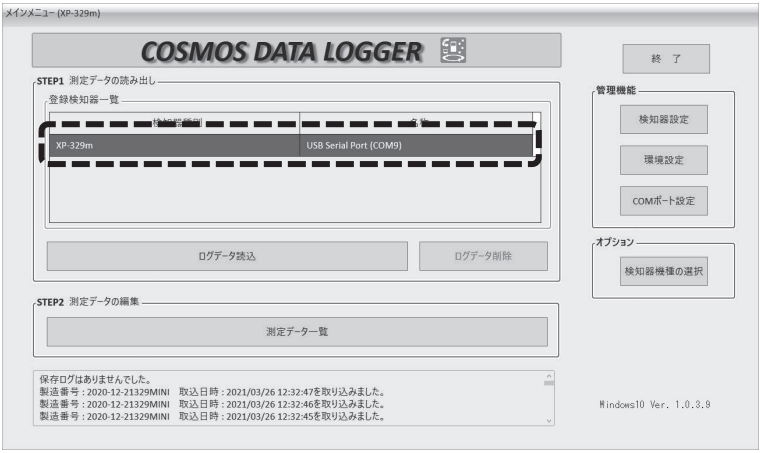


⑤ 読み込み完了後、XP-329m 本体内のログデータを削除するか確認メッセージが表示されます。削除する場合、「OK」を選択します。読み込み完了毎に都度確認するか、確認せずに自動削除するか「環境設定」にて変更できます。「環境設定」画面については、P.47 を参照してください。

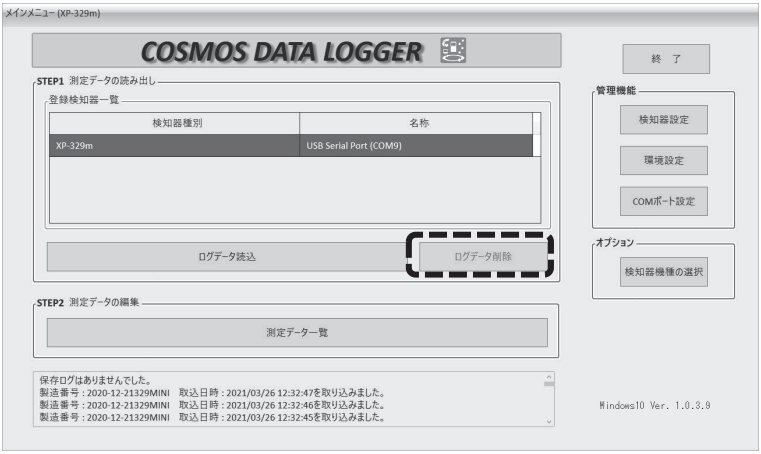
6）. ログデータ削除

登録検知器一覧で選択した検知器のログデータを削除します。

① ログデータを削除する検知器を選択します。




② 「ログデータ削除」をクリックします。

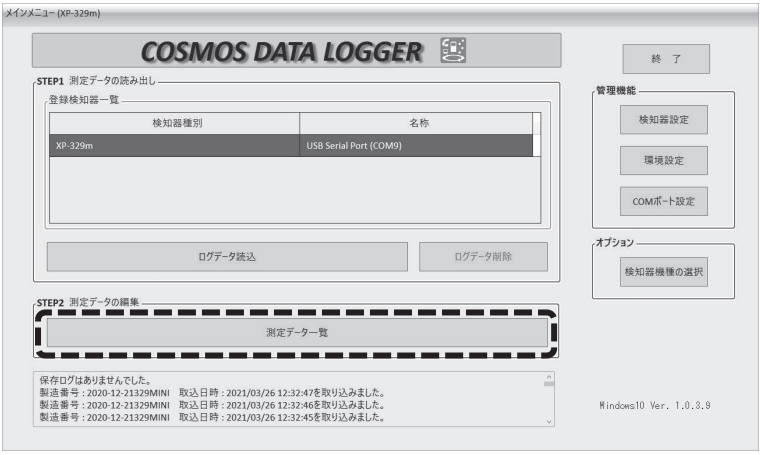



③ ログデータが削除されます。

## 7）. 測定データー覧

読み込まれている測定データの一覧を表示し、グラフ表示や CSV ファイルへ出力することができます。

### ① メインメニューの「測定データー覧」をクリックします。




### ② 測定データー覧画面が表示されます。

## 測定データー覧画面について

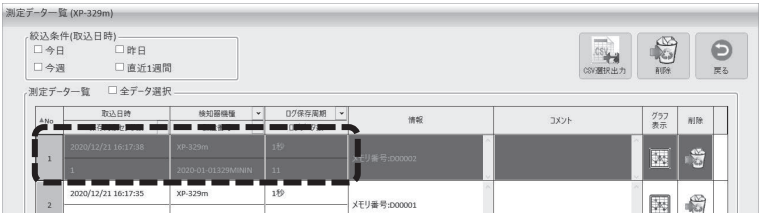
| No. | な ま え | | は た ら き |
|---|---|---|---|
| ① | 絞込条件<br>（取込日時） | | 取込日時から条件を指定し、対象データを絞り込んで表示します。「今日」と「昨日」など複数選択することができます。 |
| ② | 測定データー覧 | | 検知器から読み出した測定データの一覧を表示します。 |
| | | 全データ選択 | 読み込んだすべてのデータを選択します。 |
| | | No. | 日時の順に取り込んだデータを表示します。<br>クリックすると降順（昇順）で並びかえることができます。 |
| | | 取込日時 | 取込開始した日時を表示します。 |
| | | 保存対象<br>センサ数 | 保存対象とするセンサの数を表示します。<br>「▼」をクリックしてプルダウンメニューからセンサ数を選択すると、対象となる測定データが表示されます。 |
| | | 検知器機種 | 検知器の機種を表示します。<br>「▼」をクリックしてプルダウンメニューから機種を選択すると、対象となる測定データが表示されます。 |
| | | 製造番号 | 検知器の製造番号を表示します。<br>「▼」をクリックしてプルダウンメニューから製造番号を選択すると、対象となる測定データが表示されます。 |
| | | ログ保存周期 | ログの保存周期を表示します。<br>「▼」をクリックしてプルダウンメニューから保存周期を選択すると、対象となる測定データが表示されます。 |
| | | ログデータ数 | 保存されているログデータ数を表示します。 |
| | | 情報 | メモリ番号を表示します。 |
| | | コメント | グラフ表示画面のコメント欄の内容が表示されます。 |
| | | グラフ表示 | アイコンをクリックするとグラフ表示画面に移行します。（→ P. 42） |
| | | 削除 | アイコンをクリックすると測定データを削除します。（→ P. 41） |
| ③ | CSV 選択出力 | | 選択された測定データを CSV ファイルに出力します。（→ P. 40） |
| ④ | 削除 | | 選択された測定データを削除します。（→ P. 41） |
| ⑤ | 戻る | | メインメニューに戻ります。 |

測定データの選択

① 選択したい測定データの下記破線枠部分をクリックします。
選択を解除する場合は、再度クリックします。

CSV ファイルへの出力

① CSV ファイルへ出力する測定データを選択します。

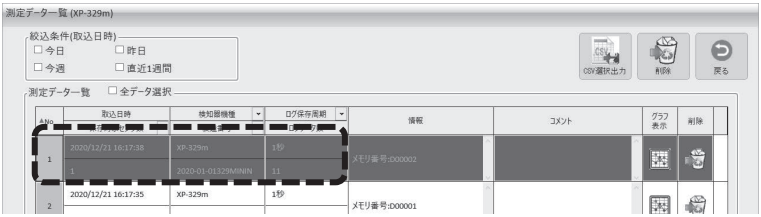



② 「CSV 選択出力」をクリックします。

③ 保存先を指定して「OK」をクリックします。

## 測定データの削除

① 削除する測定データを選択します。




② 「削除」または削除欄のアイコンをクリックします。

③ 確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

> **⚠注意** 削除した測定データは元に戻せません。
> 削除する前に十分確認してください。

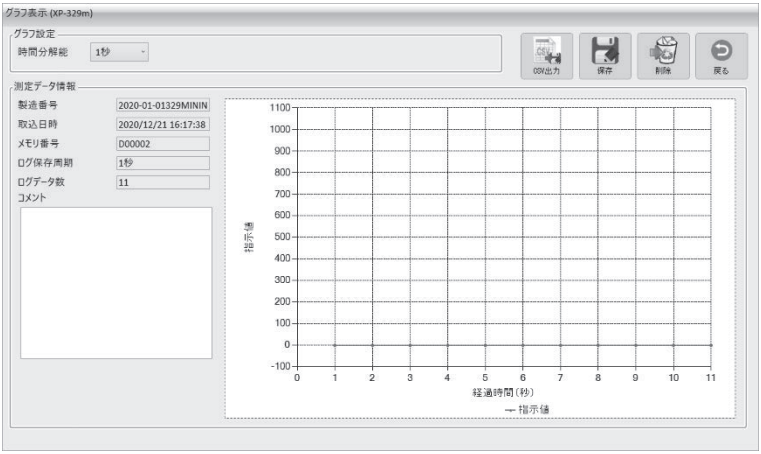
## 8）. グラフ表示

選択した測定データをグラフ表示し、コメントの追加や CSV ファイルへ出力することができます。

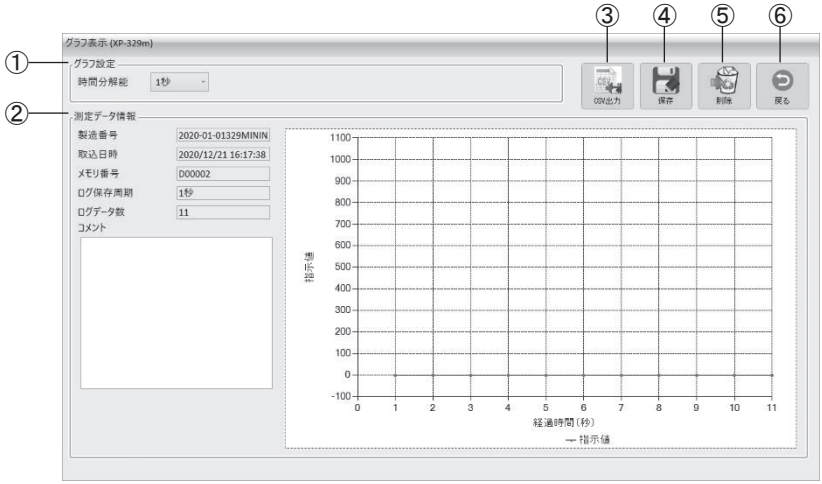
### ① グラフ表示する測定データを選択します。

### ② グラフ表示欄のアイコンをクリックします。

### ③ グラフ表示画面が表示されます。



## グラフ表示画面について

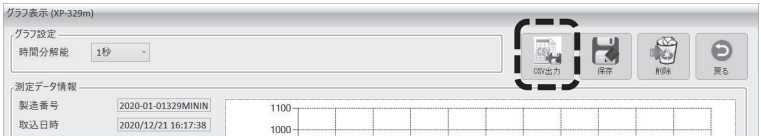



| No. | な　ま　え | は　た　ら　き |
|---|---|---|
| ① | グラフ設定 | 表示するグラフの条件を設定します。 |
| | 時間分解能 | グラフに表示する時間単位をプルダウンメニューから選択します。 |
| ② | 測定データ情報 | 検知器から読み出した測定データの情報を表示します。 |
| | 製造番号 | 検知器の製造番号を表示します。 |
| | 取込日時 | 測定データを取り込んだ日時を表示します。 |
| | メモリ番号 | ログデータを保存したメモリ番号を表示します。 |
| | ログ保存周期 | ログの保存周期を表示します。 |
| | ログデータ数 | 保存されているログデータ数を表示します。 |
| | コメント | コメントを入力することができます。<br>入力内容は測定データー覧画面のコメント欄にも表示されます。 |
| ③ | CSV 出力 | グラフ表示中の測定データを CSV ファイルに出力します。（→ P. 44） |
| ④ | 保存 | コメントを保存します。（→ P. 44） |
| ⑤ | 削除 | グラフ表示中の測定データを削除します。（→ P. 44） |
| ⑥ | 戻る | 測定データー覧画面に戻ります。 |

CSV ファイルへの出力

① 「CSV 出力」をクリックします。

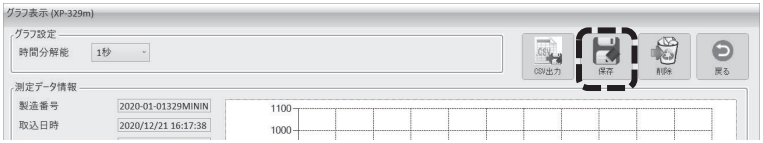
② 保存先を指定して「OK」をクリックします。




コメントの保存

① 「保存」をクリックします。

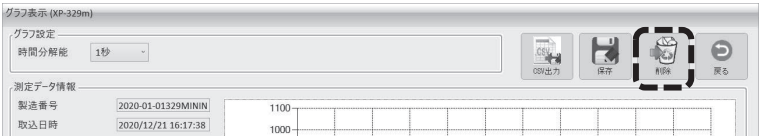
② 確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。




測定データの削除

① 「削除」をクリックします。

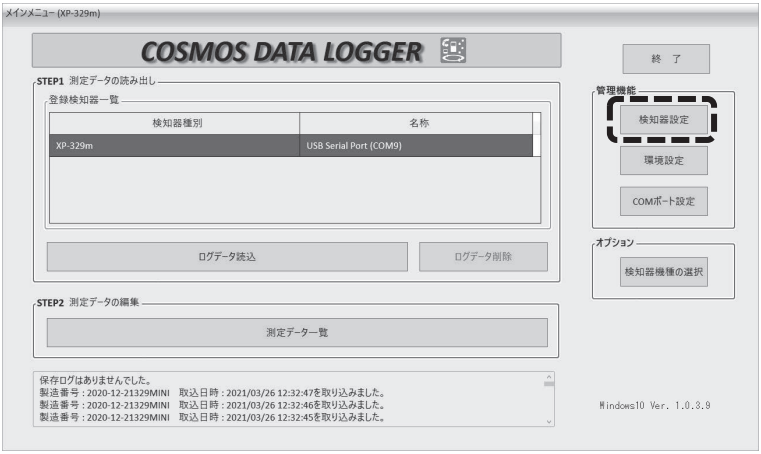
② 確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。




⚠注意　削除した測定データは元に戻せません。
削除する前に十分確認してください。

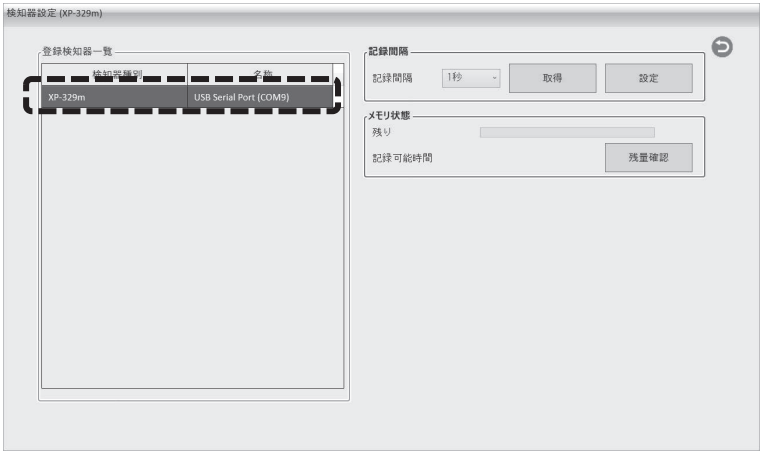
## 9）. 検知器設定

① メインメニューの「検知器設定」をクリックします。




② 検知器設定画面が表示されます。

③ 登録検知器一覧から設定対象の検知器を選択します。



● 記録間隔を取得する場合

① 記録間隔内の「取得」をクリックしてください。

② 検知器に設定された記録間隔が表示されます。

● 記録間隔を設定する場合

① 検知器に設定する記録間隔をプルダウンから選択し、「設定」をクリックします。

② 検知器に記録間隔が設定されます。

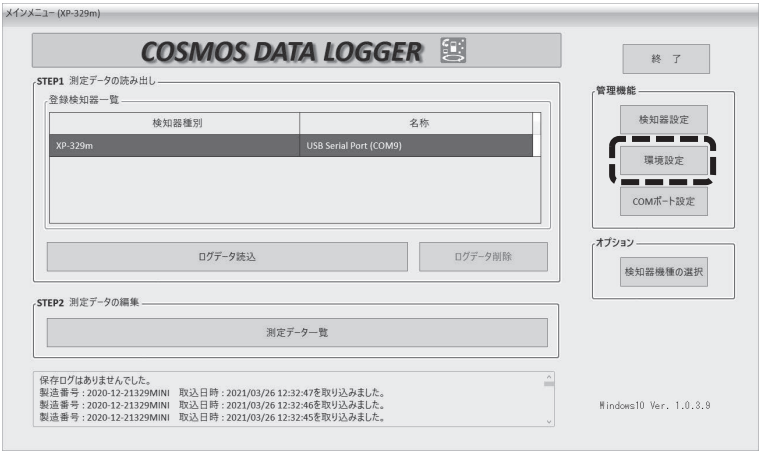
● メモリの残量を確認する場合

① メモリ状態の「残量確認」をクリックします。

② メモリ状態の残りに検知器のメモリ残量を表示します。

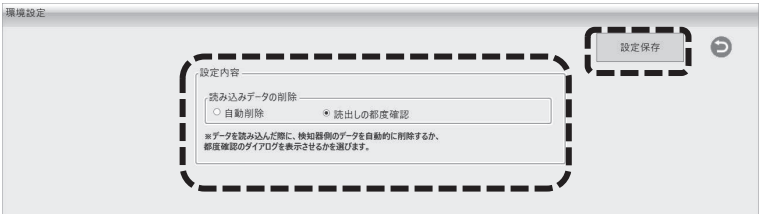
## 10）. 環境設定

① メインメニューの「環境設定」をクリックします。




② 読み込みデータの削除方法を選択します。

③ 「設定保存」をクリックします。

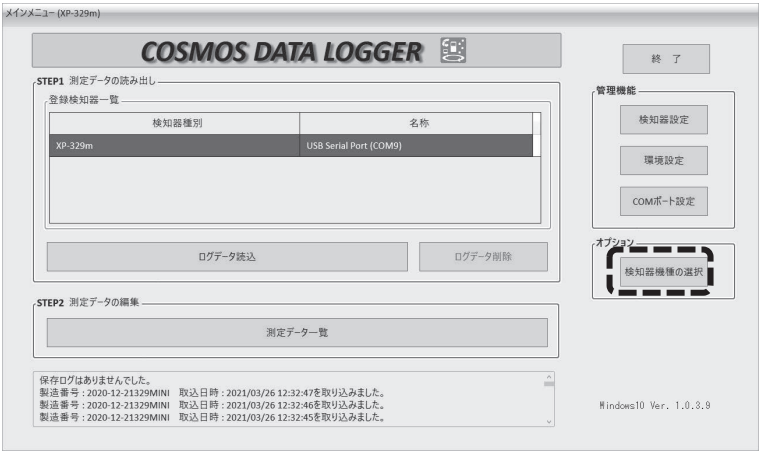



④ 「設定内容を保存しました。」が表示されたら「OK」をクリックします。

⑤ 戻るボタンでメインメニューに戻ります。

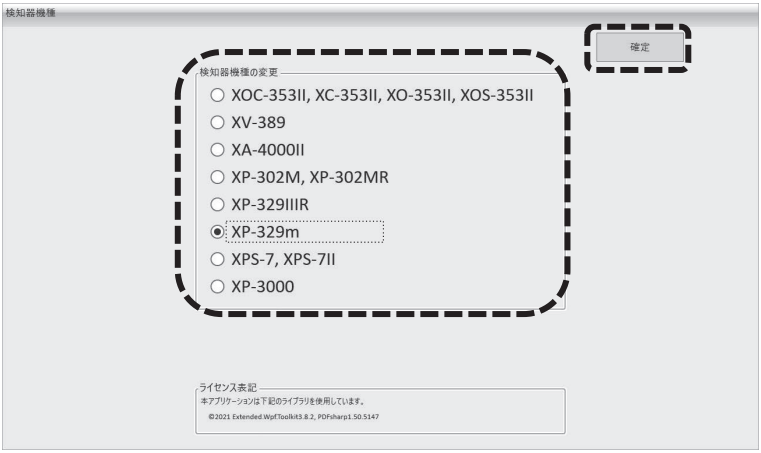
## 11）. 検知器機種の選択

① メインメニューの「検知器機種の選択」をクリックします。




② 変更する機種を選択します。

③ 「確定」ボタンをクリックします。
機種が変更されメインメニューに戻ります。



## 12). CSV ファイルの構成

出力されたデータは表計算ソフトで一般的に用いられる「CSV(カンマで区切られた値)ファイル形式」で、記録フォルダに書き込まれています。CSV ファイルはテキストファイルであるため表計算ソフト以外にもワープロやテキストエディタで開いて見ることや、印刷することができます。

ファイル名はデータの取込日時から『検知器機種_製造番号_メモリ番号_計測生データ_4 桁年 2 桁月 2 桁日 2 桁時 2 桁分 2 桁秒.拡張子』が自動的につけられます。例としてデータの取込日時が『2020/9/30 8:54:00』の場合、ファイル名は以下のようになります。

『XP-329m_2020-01-01329MININ_D00002_20200930085400.csv』

Excel がインストールされていると、拡張子 CSV のファイルが関連付けされているので、データファイルのダブルクリックで開くことができます。Excel から受信データファイルを開くと次の例のようになります。

A 列に記録間隔ごとの時間(秒)が、B 列にはその時の指示値が表示されます。

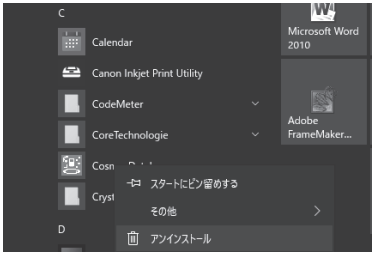
| | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | コメント | | | | |
| 2 | 記録間隔[sec] | 指示値 | | | |
| 3 | 1 | 0 | | | |
| 4 | 2 | 0 | | | |
| 5 | 3 | 0 | | | |
| 6 | 4 | 0 | | | |
| 7 | 5 | 0 | | | |
| 8 | 6 | 0 | | | |
| 9 | 7 | 0 | | | |
| 10 | 8 | 0 | | | |
| 11 | 9 | 0 | | | |
| 12 | 10 | 0 | | | |
| 13 | 11 | 0 | | | |

# (3) COSMOS DATA LOGGER のアンインストール

## 1）. ソフトウェアのアンインストール

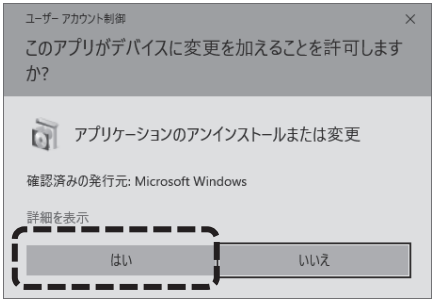
メモ　ここでは標準的な設定の Windows10 の画面表示について説明します。
他のバージョンの Windows では表示が異なる場合があります。

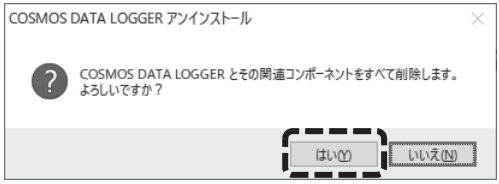
① スタートメニューのアプリの一覧の中から「CosmosDataLogger」のアプリを見つけます。
② アプリを右クリックすると、メニューが表示され、その中から「アンインストール」を選択します。




③ 「プログラムと機能」が表示されるので、「COSMOS DATA LOGGER」を右クリックし、「アンインストール」をクリックします。

④ COSMOS DATA LOGGER アプリのアンインストールが開始されます。
　何らかのセキュリティに関する警告が表示された場合は、『実行』または『続行』または『許可』または『はい』を選択し、アンインストールを続行します。



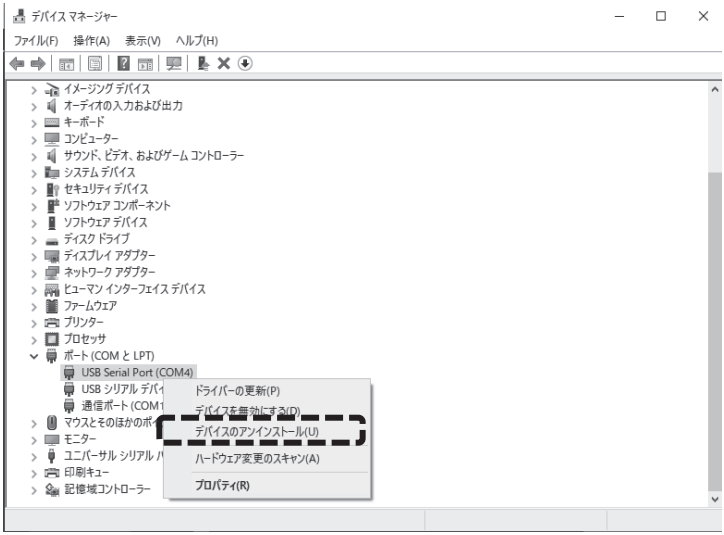
## 2）.USB ドライバのアンインストール

メモ　ここでは標準的な設定の Windows10 の画面表示について説明します。
他のバージョンの Windows では表示が異なる場合があります。

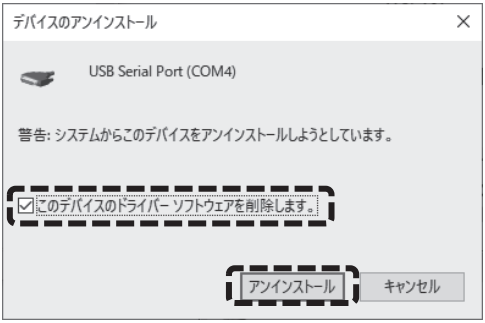
⚠注意　USB ドライバをアンインストールする際には XP-329m 本体を必ず USB ケーブルでパソコンに接続してください。

① スタートボタンを右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

② 「ポート(COM と LPT)」の「USB Serial Port(COMx)」を右クリックし、「デバイスのアンインストール」をクリックします。




③ 「デバイスのアンインストール」の確認が表示されます。「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除します。」にチェックし、「アンインストール」をクリックします。

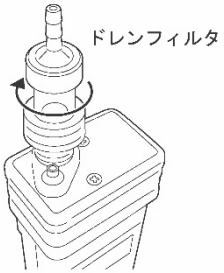


# 11. 活性炭フィルタについて（オプション）

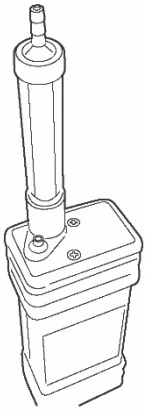
活性炭フィルタを使用することで、清浄な空気を吸引することができます。ベース値がなかなか安定しない場合や、使用環境に清浄な空気がなく測定が難しい場合などでもご使用いただけます。より正確に測定される場合などにご使用ください。

## （1）取付方法

**①ドレンフィルタを取り外します。**



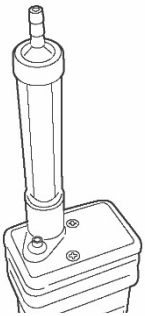

**②活性炭フィルタを取り付けます。**



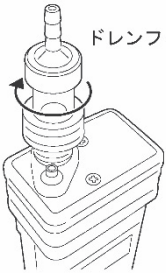
メモ　ドレンフィルタは回転させながら取り外すと簡単に取り外すことができます。

⚠注意　オプションの『活性炭フィルタ』をご購入いただいていない場合は、上記記録機能を使用することはできません。

## (2) 取外し方法



①活性炭フィルタを取り外します。



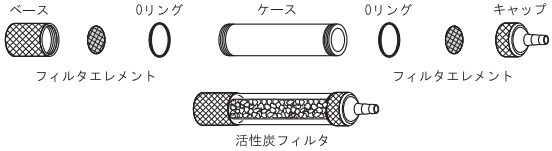

②ドレンフィルタを取り付けます。

メモ ドレンフィルタは回転させながら取り外すと簡単に取り外すことができます。

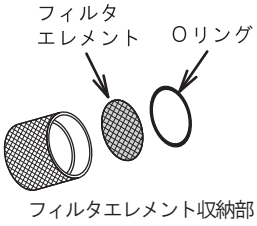
メモ
- ●活性炭は清浄空気中でのご使用、保存であれば開封後1カ月程度使用可能です。
  ※使用状況等で交換時期が早まることもあります。ベース調整に時間がかかるようであれば、1ヶ月を待たずに交換してください。
- ●活性炭のニオイ除去能力は温度・湿度の影響を受けます。
  ご使用時に周囲温度・湿度が高い場合はニオイ除去能力が低下し、正確にベース調整ができない場合があります。夏場の使用時は、日陰など低温な場所でご使用ください。
  冬場など低温低湿の場所でニオイをモニタリングする場合は、活性炭を測定場所の温湿度に慣らす必要があります。通常の暖機運転後も、測定場所において継続して15分以上の暖機運転を行ってください。
- ●活性炭フィルタのフィルタエレメント（2ヶ所・各1枚）は活性炭交換時に同時に交換してください。

## (3) 活性炭の交換方法

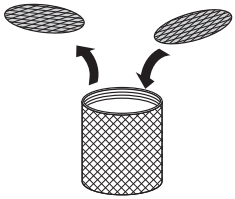
活性炭は活性炭フィルタのケース部に収納されています。



①活性炭フィルタのキャップのネジを外し、ケースから活性炭を取り出します。ベースも同じようにネジを外します。
（使用済みの活性炭は可燃性ゴミとして処分してください。）

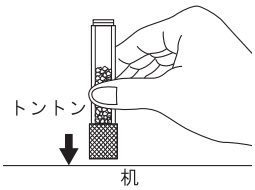



②キャップとベースのフィルタエレメントの交換を行います。ドライバーやピンセットなどで 0 リングを外します。このとき 0 リングを傷つけたり、紛失しないようにしてください。



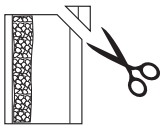
③新しいフィルタエレメントに交換します。

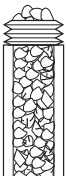
④フィルタエレメントがたるまないように注意しながら再び0 リングを入れます。




**⑤ケースにベースを取り付け、新しい活性炭を入れます。活性炭を 5 分目、8 分目まで入れた時点で、ならすために立てたまま机に数回トントンと叩きます。**

**メモ** 新しい活性炭を開封する時は、パックの口を大きく開けずに切り口に沿って、斜めに切るようにしてください。





**⑥ケースがいっぱいになるまで活性炭を入れ、最後に、横から見た時にケースから活性炭が少し盛り上がる程度にまでさらに入れます。**

**⚠注意** 活性炭をこぼさないようにご注意ください。

**メモ** 交換用の活性炭は 1 パックで 1 回分袋詰されています。
ケースの中にすき間ができると再現性や測定値に誤差が生じるおそれがありますので、すき間ができないようにケースをゆすりながら交換してください。
また、活性炭の詰め方により多少余る場合がありますが、目安として元通りにネジを締めてケースを振った時、中の活性炭がゆれる音がしない程度に詰めてください。

**⑦ネジを締めて元通りに組み立てます。**

**⚠注意** 組み立て時にはネジの締めすぎにご注意ください。

# 12. 故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に、下表にしたがってもう一度ご確認ください。下記の処置を行っても改善されない場合は、最寄りの弊社事業所またはお買上げ店まで点検・修理をご依頼ください。

| | こんなときは | これが原因です | 次の処置を行ってください。 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 測定準備・開始 | 電源が入らない。 | 電源ON時POWERボタンを押す時間が短い。 | POWER ボタンを 3 秒間以上押しつづけてください。 | 10 |
| | | 電池の接触不良が起こっている。 | 電池を入れ直すか、新しい同種の電池と交換してください。 | 17 |
| | | 電池の方向(＋・−の極性)が正しくない。 | 電池の極性を確かめて正しく入れ直してください。 | 17 |
| | 測定を開始したが測定値が一向に変動しない。 | ニオイの濃度が低い(うすい)。 | ・ある程度ニオイの濃い試料をご用意ください。(固体・液体の場合、試料量を増やすなど。)<br>・測定試料にニオイがそもそもほとんどなく清浄空気と違わない場合もあります。 | — |
| | | 嗅覚では感知できるが、本器には低感度なニオイである。 | 測定できません。 | — |
| 測定中 | 指示値がマイナス表示になる | マイナス干渉のガス(ハロゲン元素を含む化合物やオゾン・NOx などの酸化性ガス)を吸引している。 | 測定できません。誤って吸引してしまった場合は、清浄空気によるセンサのクリーニングを 10 分以上行ってください。 | 4 |
| | | 暖機運転後もなおセンサが安定していない場合や低湿度の環境・試料の測定により、最初に設定したゼロベースの時点からセンサ出力が低下し、その時点ではゼロベースよりも低い状態にある。 | ・マイナス干渉のニオイを吸引していないことを確認してから表示が安定するまで待ち、その後再度ベース調整を実施してください。<br>・被毒性ガスなどの吸引によりセンサが劣化し、安定性が悪くなっている可能性があります。点検校正をご依頼ください。<br>・測定環境の臭気レベルが変動している可能性があります。オプションの活性炭フィルタなどを装着し、ベース調整を行ってください。 | 10 |
| | 測定中に「HH」を表示した。 | 測定可能範囲を超えた強いニオイを吸引している。 | 臭気レベルが高く測定できません。清浄空気によるセンサのクリーニングを 10 分以上行ってください。 | 12 |
| | | トランシーバーなど電波を発生する機器の近くで使用している。 | 電波を発生する機器から本器を離して測定してください。 | 5 |

| | こんなときは | これが原因です | 次の処置を行ってください。 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 測定中 | 測定中に「LL」を表示した。 | 高濃度のマイナス干渉のガス（塩素・フッ素などハロゲン元素を含む化合物やオゾン・NOxなどの酸化性ガス）を吸引している。 | センサに悪影響を及ぼすガスのため測定できません。誤って吸引してしまった場合は、清浄空気によるセンサのクリーニングを 10 分以上行ってください。 | 12 |
| | | トランシーバーなど電波を発生する機器の近くで使用している。 | 電波を発生する機器から本器を離して測定してください。 | 5 |
| その他 | 清浄空気を吸引させても、最初のベース値まで指示値が戻らない。 | フィルタエレメントの目詰まり | 新しいフィルタエレメントに交換してください。 | 15 |
| | | 測定したニオイがセンサに悪影響を与える成分だった | 高濃度のニオイやガス（特に硫化物）、シリコン化合物のガス、タバコの煙などミスト状の高濃度のタール、オイルミスト、高濃度の塩化物や強酸物質、塩素やオゾン・Nox などの酸化性ガスを吸引させるとセンサの破損や被毒の原因となる場合があります。清浄空気を数時間吸引させて、元の状態に戻らない場合は、当社に点検・修理をご依頼ください。（有償） | 4 |
| | | ベース調整時の清浄空気と質が違っている | 測定環境の臭気レベルが変動している可能性があります。オプションの活性炭フィルタなどを装着し、ベース調整を行ってください。 | 11 |
| | | ニオイのある空気だった | 外気や禁煙で無人の会議室など清浄空気が得られる場所でベース調整を行ってください。 | |
| アナログ出力※ | アナログ出力が正しく出力されない | ケーブルが正しく接続されていない | XP-329m 本体の底面にある接続ジャックにカチッと音がするまで奥にしっかりと差し込む。 | 25 |
| | | 記録計へ接続するケーブルの極性が間違っている | 極性を正しく接続する。 | 25 |
| PC接続※ | XP-329m とパソコンの通信ができない | ドライバがインストールされていない | 再度、PC 接続用ソフトのインストールを実施する | 26 |
| | | 通信設定（COM 設定）ができていない | デバイスマネージャーにて COM 設定番号を確認し、正しく設定する | 35 |

※はオプション

# 13. 保守点検

ご使用になる前に下表の項目について点検を実施してください。

また、落下などの衝撃を与えた、内部が水に濡れたなど「正しくご使用いただくために」の記載事項に反した場合、使用温湿度範囲外で使用したなど「仕様」に記載している範囲外で使用した場合には、随時状況説明を添えて点検（有料）をお買上げ店または弊社までお申し付けください。（送料は、お客様負担とさせていただきます。）

| 点検項目 | 点検内容 |
|---|---|
| ドレンフィルタ | ドレンフィルタ内のフィルタエレメントが汚れたり、濡れたり、ドレンフィルタ内に水が溜まっている場合は、ドレンフィルタ内を掃除し、フィルタエレメントを新しいものに交換してください。（P15 参照） |
| フィルタエレメント | |
| ＬＣＤ表示 | ＬＣＤ表示に欠けがないことを確認してください。 |
| ポンプ | ポンプ動作時に異音がする場合は、ドレンフィルタやフィルタエレメントの点検をしてください。 |
| 電池残量 | LCD 画面の電池残量表示を確認してください。<br>電池残量が少なくなっている場合は、新しい電池に交換してください。（P17 参照）<br>メモ・低温時は電池消耗が早くなりますので、予備電池の準備や、早めの電池交換をおすすめします。 |

● 定期点検

本器は精密機器です。1 年に 1 回、弊社に点検調整をお申し付けください。本器の点検調整及び故障修理の際、本体内蔵のメモリに記録されているデータが削除される場合がありますので、点検調整及び故障修理をご依頼いただく場合、事前にデータをパソコンに出力し、保存してください。

● お手入れ

機器が汚れている場合は、乾いた柔らかな布、または水を含ませて固く絞った布（拭いても機器が濡れない程度）などで拭いてください。アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

# 14. 保証書と web ユーザー登録

包装箱の中に保証書と web ユーザー登録のご案内が入っています。web ユーザー登録は、ご登録いただいた機器情報から保守点検時期やサポート情報などをメールなどにてご案内させていただきますので、ぜひこのサービスをご利用ください。

● 保守点検のお願い

お買い上げいただきましたガス検知器は精密機器です。精度を維持し、安全を確保するためには、日常点検および定期点検を実施していただきますようお願いします。なお、日常点検や定期点検について不明な点は、弊社までお問い合わせください。

● 保証について

保証期間中に、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

# 15. 廃棄について

● 検知器本体、付属品および電池は、各地域で定められた条例などに従い廃棄処分してください。

# 16. 主な仕様

| | |
|---|---|
| 型　　式 | XP-329m |
| 測 定 対 象 | 各種香気・臭気成分 |
| 測 定 原 理 | 高感度酸化スズ系熱線型焼結半導体センサ |
| 表 示 方 式 | LCD デジタル表示(7 セグ 3 桁)<br>(測定値、表示状態、電池レベル、データメモリ状況など) |
| 測定(検知)範囲 | -99～999[範囲外の表示：(低) LL　(高) HH] |
| 繰り返し再現性 | 測定値±5%±1digit(同一条件下にて) |
| 採 取 方 式 | マイクロエアポンプによる自動吸引式　吸引流量 350±100ml／min |
| 応 答 時 間 | 90%応答　20 秒以内(校正臭気にて) |
| 外 部 出 力 | アナログ出力（オプション）<br>000～999 に対し、DC0～0.999V(表示 1 に対し 1mV) |
| データメモリ容量 | 1 秒間隔で 5 時間（オプション）<br>※ただし、連続記録の場合 |
| 使用温湿度範囲 | 温度：0～40℃　湿度：10～80%RH(ただし、結露なきこと) |
| 保管温湿度範囲 | 温度：-10～50℃　湿度：最大 80%RH 以下（結露なきこと） |
| 外 形 寸 法 | W40×H140×D60(mm)[突起部除く] |
| 質　　量 | 約 300g(電池含む) |
| 電　　源 | 単 3 形アルカリ乾電池 3 本／専用 AC アダプタ(AC100～240V)（オプション） |
| 連続使用時間 | 10 時間(アルカリ乾電池、常温常湿にて)<br>※電池電圧表示及び電子音による電池寿命警報機能付き |
| 標準付属品 | ドレンフィルタ(1 個)、単 3 形アルカリ乾電池(3 本)、<br>フィルタエレメント FE-24(10 枚入) |

※　改良のため予告なく変更することがあります。

オプション品

| | |
|---|---|
| XP-329m 専用オプションパック(P329) | ・XP-329m 専用 AC アダプタ(1 本)　・外部出力ケーブル(1 本)<br>・PC 接続用ソフト(CD-ROM)(1 枚)　・USB 接続ケーブル(1 本) |
| 活性炭フィルタ(DF-105) | ・活性炭フィルタケース(1 本)　・活性炭(1 パック) |
| 活性炭(FE-110) | 5 パック 1 組 |
| 平面ニオイ捕集器(HN-5) | ステンレス製 |
| 試料採取用ポンプ(DC1-NA) | 吸引部カートリッジ式 |
| 試料採取袋 F タイプ(NB-310) | 6 枚 1 組、ポリエステル製 |
| 嗅覚測定用ニオイ袋 0 タイプ(NB-310) | 12 枚 1 組、ポリエステル製 |
| テフロンチューブ(TP-1) | テフロン製、φ5×φ4、1m |
| 試料ビン(SB-200) | 3 個 1 組、ガラス製(ビン)、テフロン製(フタ)、ステンレス製(口金) |

●この取扱説明書を紛失された場合
万一この取扱説明書を紛失した場合は、弊社最寄りの支社または営業所までご連絡ください。
有償にて送付いたします。
●本取扱説明書の記載内容は、改良などのため予告なく変更する場合があります。

代理店･販売店

新コスモス電機株式会社

〒532-0036　大阪市淀川区三津屋中 2-5-4

URL http://www.new-cosmos.co.jp

XP-329mT(07)●●.●●